

事業体見学・就業体験受入先情報 掲載内容

1 受入先の情報	
企業・団体名	有限会社 スリースターズ興業
代表者名	代表取締役 簗島 金次
住所	〒078-2600 北海道雨竜郡雨竜町字尾白利加 92 番地 16
電話	0125-77-2052
FAX	0125-77-2550
E-mail	
自社HP	
事業内容	造林・造材業
事業区域	北空知管内一円
従業員数	現場作業員 15名、(内通年雇用 8名) 事務3名
就業時間帯	7時00分～16時30分(休憩120分)
休日・休暇	日曜日、年末年始、お盆他、月1回のみ週休
企業・団体のPR	若い人からベテランまで様々な世代が活躍しています。林業の仕事に誇りを持ち、やりがいを感じられる職場を目指しています。
就業採用情報	一緒に働く仲間を募集しています。 詳しい採用情報、雇用条件等はお問い合わせください。
2 事業体見学・就業体験のご案内	
受入れ可能期間	随時
見学・体験内容	朝礼から従業員と一緒に林業の仕事を1日体験、見学をしてください。地拵え・植栽等の林業体験、林業機械を操作する現場の見学や試乗体験(季節や作業内容により、内容が変わります)。

連絡先・ 連絡方 法	実習希望日、氏名、住所、電話番号をお伝えください。 お気軽にお問い合わせ下さい。 担当者：社長 簗島金次
見学・体 験希望 者への メッセ ージ	未経験者にも丁寧に対応いたします。 一度見学・体験に来てください。
関連情報（情報がある場合のみ表示：事務局で記載）	
タイト ル	「北海道の人、暮らし、仕事。くらしごと」に掲載
内容	https://kurashigoto.hokkaido.jp/konomachi/20191024100000.php



THREE STARS

Co. Ltd.

有限会社 スリースターズ興業

会社案内

📍 林業のお仕事説明付き



会 社 概 要

COMPANY INFO

会 社 名	有限会社 スリースターズ興業
代 表 者	代表取締役 篠島 金次
所 在 地	北海道雨竜郡雨竜町字尾白利加92番地16
T E L	0125-77-2052
F A X	0125-77-2550
設 立	平成13年 5月
従 業 員 数	9名(通年雇用 7名、臨時雇用 2名)
事業の内容	造材事業(主伐・間伐)※1 造林事業(地拵え・植付け・下草刈り・除伐)他 ※2 ※1 造材は、木を伐採して丸太にすること ※2 造林は、苗木を植えたり育てたりすること
会 社 P R	平成13年の創業以来、地元森林組合とのタッグで安定した実績を残し「迅速丁寧で仕上がりにこだわる仕事」をモットーに更なる飛躍を目指しています。
教育方針	必要に応じチェーンソーの資格や重機資格を取得してもらいます。また、取得しながら実践(OJT)し、経験を積んでいただきます。ゆっくりじっくりステップアップをしながら、自信につなげていきます。
職場風土	69歳の社長を筆頭に20歳~63歳の6人が中心メンバーです。体力は使いますが、山林の中で気持ち良く仕事をしています。

(有)スリースターズ興業のココがスゴイ!

高卒の方も、
異業種から転職して
未経験の方も
活躍しています!

地球環境を守ります

老若男女を問わず/
林業への関心の
高い方との出会いを
心待ちにしています!

災害を防いだり、水源を綺麗に保つなど
社会貢献度も高く
やりがいを感じられる仕事です

なにより達成感がスゴイ!



2019年に北海道水産林務部が発行した「ほっかいどうの林業お仕事図鑑」に掲載した弊社社員のインタビューです

〈雨竜町〉有限会社スリースターズ興業 塚田 翔太さん

未経験からスタート。 林業の世界に飛び込んだ19歳



札幌と旭川の間広がる空知という地域は、林業の盛んな地域でもありません。北海道深川市の高校を卒業し、雨竜町に本拠地を置く林業の会社(有)スリースターズ興業に就職した塚田翔太さんに、若者から見た会社や林業の魅力を聞きました。

見学会をきっかけに林業へ

働き始めてまだ2カ月ほどの塚田さんを訪ねると、何本も倒した木が整然と並び森のふもとの土場(どぼ)と呼ばれる所に、チェーンソーを使って枝を払っている彼の姿がありました。もうすっかり不安もなく作業をしているように見える塚田さんですが、特に高校時代には林業を志していたわけではないと言います。

「この会社で働きたいと思ったきっかけは、会社の見学会でした。僕はもともと高校を卒業したらすぐ働いて、親に迷惑をかけないように自立したいと思っていました。それで就職活動をしているときにインターネットで林業の事を知り、林業の会社を探しました。そしてこの会社に出会って採用してもらいました」



枝払い作業中

体を動かす仕事が良い

しかし、普通の事務職や営業職ではなく(有)スリースターズ興業は林業の会社です。山で木を植えて育てて、育った木を出荷し、再び森林を育てることを生業としている会社で、未経験で働くことに不安はなかったのでしょうか。

「僕は高校生の頃からずっとバドミントンをしていました。なので体を動かすことが好きで、事務職のように机の前でじっとしている仕事よりは体を動かすことができる仕事の方が良いなって思ったんです。家族も特に驚かず、逆に『す、いね!』と背中を押してくれました」

研修でスキルアップ

働き始めるまで林業のことはほとんど知らなかったと言う塚田さん。働き始めてからも戸惑うことはあまりなかったのだとか。

「就職してすぐに『緑の雇用』という林野庁が行っている事業の研修会があったんです。林業で働き始めた人を対象とした研修で、森を歩いて現場について教えてもらったり、そこでチェーンソーの使い方も教えてもらいました」

「緑の雇用」新規就業者育成推進事業では林業に必要な知識・技術・技能の習得のための研修を行い、林業で働く人のキャリアアップをサポートしています。(※)塚田さんの参加した研修は農業や土木業から転職した方が多かったそうですが、塚田さんと同じく新卒で林業に飛び込んだ若者が何人もいたそうです。

「最初はチェーンソーなどを使うのは怖いと思っていましたが、研修や会社の先輩にも『ゆっくりでも安全に気を付けるのが一番大事だ』と言われていて、今はあまり不安に思いません。自分がしっかりしていれば事故は防げると教わっているのです」

(※制度の対象となる会社に勤務していることが必要です)

森を育て、 人を育てる仕事

代表取締役 箕島 金次（みのしまきんじ）



地元の森で働く魅力

入社してからはまだ一部の作業しか経験していないという塚田さんですが、今の塚田さんが見た林業の魅力はどんなところなのでしょう。

「何よりもやっぱり、自然の中で体を動かして仕事ができることです。雨竜町の会社ですが他にも北空知にいくつか現場があって、僕の育った地元の森の中で仕事ができるのは気持ちが良いですね」

天気によっては作業が大変なこともあるそうですが、自然を相手にする仕事だからこそやりがいを感じ、面白さのあるお仕事なのですね。

休日の過ごし方 これからのむけて

「日曜日が休みなんで休みの日には買い物に行ったりもしますし、趣味のバドミントンも仕事が終わってから週に2回ほど行っています。急な仕事がありませんので、決まった時間にきちんと始まって終わることができます」



緑の雇用で教えてもらった後は、もちろん先輩たちから教わるのがたくさん。和気藹々とした雰囲気もありながら、安全についてはしっかりと、丁寧に教えてくれます。

（有）スリースターズ興業は平成13年に設立された林業の会社。社長の箕島金次（みのしまきんじ）さんも、昔から林業に携わっていたのかと思っていたら、なんと以前は木材工場でサラリーマンをしていたのだそう。

「工場で働きながら冬は林業の手伝いもしていたんだけど、その会社が廃業しちゃって。その時に付き合いのあった森林組合に『林業やらないか！』って声をかけてもらったのがきっかけでこの会社を立ち上げたんだ」

林業の仕事は、木を植えて森を育て山を作り、そこから木を伐って売り、また木を植えて森を守る、という循環していく仕事です。

「最近では林業もハイテク化が進んでるけれど、機械でやるとうしても木材が無駄になり、利用出来ない部分も出てきてしまう。やっぱり人の手でやる仕事の丁寧さには敵わない」と箕島さんは林業への想いを語ります。

なるべく伐採作業した森に残る『ゴミ』を少なくする。そうすることで山の環境が良くなり、未来の森林資源に繋がっていくのだと言います。

森ができるまでも長い年月がかかりますが、同時に人が育つまでも長い時間がかかる仕事です。未経験から始



森も人も、安全にじっくりと時間をかけて育てます。すぐに技術が身につく仕事じゃありませんが、汗を流して体を使う仕事は気持ちが良いですよ。

めた社員が仕事を一通りできるようになるまでだいたい5年かかるのだとか。

「やっぱりこの仕事は1年で1サイクルだからね。次の年にその仕事が2回目になる。そう簡単に一人前っていうわけにはいかない。それでも若い人もじっくりと育てていきたいと思っているから、まずは上になる社員が先輩の指導をできるくらい育つことが一番かな。今いる仲間を大切にしながら、林業にチャレンジャー若者の応援もしたいと思っているんだ」

以前は20代の女性も勤務していたという（有）スリースターズ興業。しっかりと森を育み山を愛していきたい。そんな会社では性別関係なく活躍できるように配慮も行っていきます。この広い空知を舞台にした林業の現場には、森を大切にし人を大切にする、そんなあたたかさが溢れていました。

先輩たちのあたたかいサポート

職人の現場は「縦社会」というイメージがありますが、会社の雰囲気はどうですか？と聞くと塚田さんにはっこりとして教えてくれました。

「担当している仕事や現場ごとにチームになっているのであまり会うことのない先輩もいるのですが、先輩たちはとっても優しいし未経験の僕にも丁寧に教えてくれます。怖いことは全然ないですね」



会社から支給されるチェーンソー。安全のためにしっかり目立（整備）します。

林業の1年

春 Spring

しょくさい 植栽

植え付けともよばれ、春や秋に行います。苗木で大切に育てられた苗木を、人の手で一本一本、一定の間隔でまっすくに植えていきます。

実際にやると、まっすく植えるのって難しい！皆で横並びになって確認しながら植えていきます。自分が植えた苗から芽が出ているのを見るだけでも嬉しいですよ！

しゅびょう 種苗

山に植えられる苗木は、カブマツで2年ほど、トマツで5年ほど種から畑で育てます。種苗を専門にやっている会社で生産されることがほとんどです。

夏 Summer

したがつ 下刈り

植えた苗木はまだ小さく、生長の早い雑草などによって日光が遮られ、生長が妨げられます。そのため、苗木のまわりの雑草などを刈払機で刈り取ります。これを年に1〜2回。そして苗木が雑草に負けないくらいに育つまで5〜8年ほど行います。

雑草を刈り取ると景色がガラッと変わるので、その光景が印象的です！

じよぼつ 除伐

植えた木の生長を妨げる雑木や、生育の悪い木をチェーンソーなどで伐り払う作業です。

つる切り

ヤマブドウなどのつる植物が木に絡みつくこと、生長を妨げたり、木の形が悪くなります。木を締め付けたら覆ったりして枯らすことも。そこで、木に絡みついたつる植物をナタなどで除去する作業を行います。

えだう 枝打ち

無駄な枝を付け根付近から鋸などで切り落とす作業です。節の無い良質な木材を生産する目的と、森林内に日光を採り込み生育環境を整える目的で行います。

幹を傷付けないよう、注意して切ります。切ったあとはスッキリして気持ち良いです。

秋 Autumn

地ごしらえ

木を伐ったあとの山は、枝葉などの残材が散乱し、雑草も伸び放題！この残材をレーキやグラップルなどの機械や人力で取り除き、刈払機で雑草を刈り取ります。
次の植栽に備える作業で、春や秋に行います。残材を人の手で取り除く作業は地味で体力がいらしますが、ここを丁寧にやっておくと植栽作業が楽になります。

散らかっていた地面がキレイに片づくことこそ爽快です！

かんばつ 間伐

木が生長してくると、森林の中が混み合い、日光が当たりにくくなりお互いの生長が妨げられます。それを避けるため、一部の木をチェーンソーなどで伐採（間引き）し、生長に必要なスペースを確保します。光が差し込んで更に木の生長が進み、根っこが太く丈夫になるため、健全で災害にも強い森林に育ちます。

間引きした木も立派な木材！工場に運んで活用します。間伐材としてさまざまな製品になって皆さんの身近に届けられています。

冬 Winter

しゃばつ 主伐

植えてから40〜50年以上経ち、大きく太く生長した木をようやく収穫するときがやってきました。チェーンソーのほか、ハーベスタなど高性能林業機械で伐採します。
伐った後には、再び苗木を植えて次の世代の森林を育てていきます。これを繰り返していくことで、森林資源は未来に受け継がれていくのです。

天気によって作業内容が左右されることもある林業ですが、自分の関わった現場の木が育っていくのを見ることが出来るのも達成感のひとつ！

真っ直ぐ切るのには慣れないとなかなか難しく、素早く切るのには熟練の技！

幹を傷つけないようにするのが大事なポイントです！

自分たちが伐採する木は、ずっと昔の先輩方が植えた木。無駄なく伐って大事に使っていかなくては！

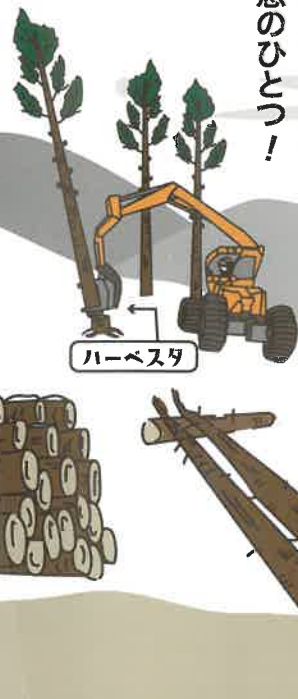
玉切り 枝払い

木を伐採した後は、枝払いと玉切りを行います。

伐倒した樹木の枝を幹から伐り払う作業。全ての枝を、丁寧に伐り払います。

直径や曲がり、節、腐れなどを見極めて、用途に応じて一定の長さで切断し丸太にする作業。どう切れば高く売れるか、建築材になるかパルプ材になるか、経験に基づいた判断が問われるところです。

※ハーベスタでは伐採・枝払い・玉切りを一台で行います。



林業を支える装備と重機

フェイスガード
飛散する木の破片などから顔を守ります。

ヘルメット
落下物から頭を守ります。

呼び子(笛)
伐採作業開始の合図を、周囲に知らせます。伐採は危険を伴う作業なので、とても大事です。

イヤーマフ(耳当て)
エンジンの爆音から耳を守ります。

防護衣(ウェア)
チェーンソーから身体を守ってくれます。また、安全確保のため仲間へ場所を知らせるなど目立つ色であることも大事です。

防振手袋
チェーンソーの振動障害を防ぎます。手袋は道具のグリップをよくし、笹や小枝などから手を守ります。

チェーンソー
主伐・間伐などで伐採、枝払い、玉切りで活躍します。

刈払い機
下刈り、地ごしらえに使用します。

安全靴
足先に鉄カップが入っており、落下物などから守ってくれます。滑りにくく安全で動きやすい靴です。

作業に必要な七つ道具
[丸やすり&平やすり・プラグレンチ] チェーンソーのメンテナンス用。
[くさび&まさかり] 安全、確実に倒すために使います。他にグリスなどです。

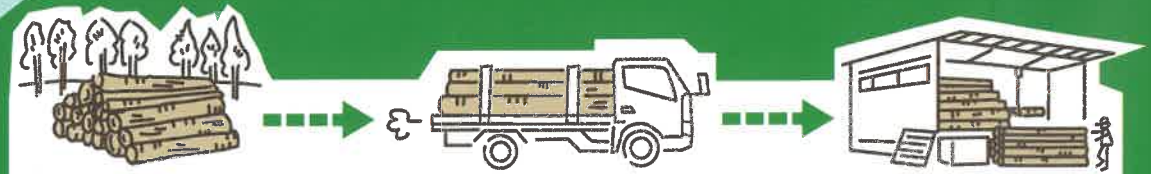
高性能林業機械

「丸太生産(伐倒・枝払い・玉切り・集積・集材など)において、複数の工程を一台で処理する作業性能の高い機械」のことで、フェラーバンチャ、ハーベスタ、プロセッサ、スキップ、フォワーダ、タワーダ、スイングヤーダなどカッコイイ名前の林業重機が大活躍！この機械を導入することで女性の進出も増えてきました。

ハーベスタ
伐採・枝払い・玉切りまでの一連の作業をこれ一台で行います。

フォワーダ
伸縮可能なグラップルクレーンで、玉切りした木材を荷台に積み運搬します。

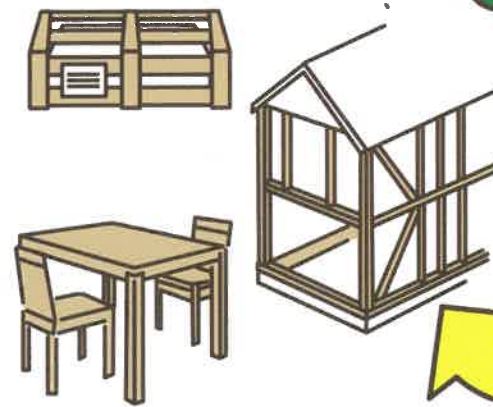
伐った木の行き先



切り出された丸太は木材運搬業者などによって製材工場へ運ばれます。

製材に適した部分は...

主に住宅用建材(家の柱や壁、たきぎ垂木、どうぶち胴縁など)になったり、梱包材(工作機械などを輸送する際に梱包する木材)や家具などに利用されます。



それ以外の部分は...

製材に適さない部分や製材で余った木材は、主にチップに加工され、紙やティシュペーパー・トイレトペーパーなどになります。また、上記のほか、枝や樹皮などとともにバイオマス燃料などにも活用され、再生可能エネルギーとして熱や電気へと生まれ変わります。他にも、樹皮や製材の際にできるおが粉は、牛の敷料として使われるなど、様々な場面で利用されています。



こうして伐った木は余すところなく利用されて、私たちの身近なところで使われています。